

乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報

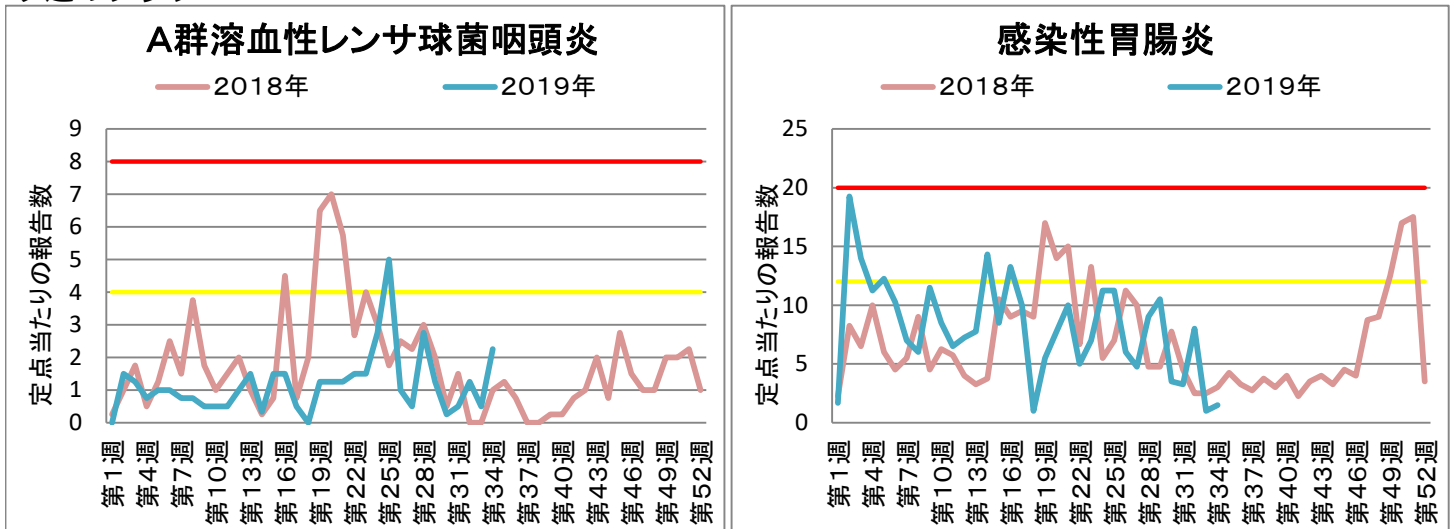
(インフルエンザ定点、小児科定点、眼科定点、全数報告)

第 34 週 2019年8月19日 ~ 2019年8月25日

今週のコメント

- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告がやや増加しています(定点あたり2.25)。この菌は乳幼児の咽頭炎、幼児から成人の扁桃炎の原因となることが多く、二次疾患としてリウマチ熱や糸球体腎炎を起こすことがあります。潜伏期は2~5日間で、発熱と全身倦怠感、咽頭痛によって発症し、莓舌がみられることがあります。感染経路は主に接触感染です。
- 感染性腸炎の報告が少数ありました(定点あたり1.50)。カキ等の魚介類の生食には注意し、嘔吐や下痢時の手洗いを励行してください。
- 手足口病の報告は減少し、当地域での流行はほぼ終息したようです(定点あたり0.75)。
- RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、伝染性紅斑の報告も少数でした。

今週のグラフ



* 赤線 流行警報基準値です 黄線 警報継続基準値です

今週の報告状況

疾病名	定点当たりの報告数	疾病名	定点当たりの報告数
インフルエンザ	-	伝染性紅斑	0.50
RSウイルス感染症	0.25	突発性発しん	1.00
咽頭結膜熱	0.25	ヘルパンギーナ	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.25	流行性耳下腺炎	-
感染性胃腸炎	1.50	急性出血性結膜炎	-
水痘	0.25	流行性角結膜炎	-
手足口病	0.75		
1~4類、5類全数報告疾病			
-			

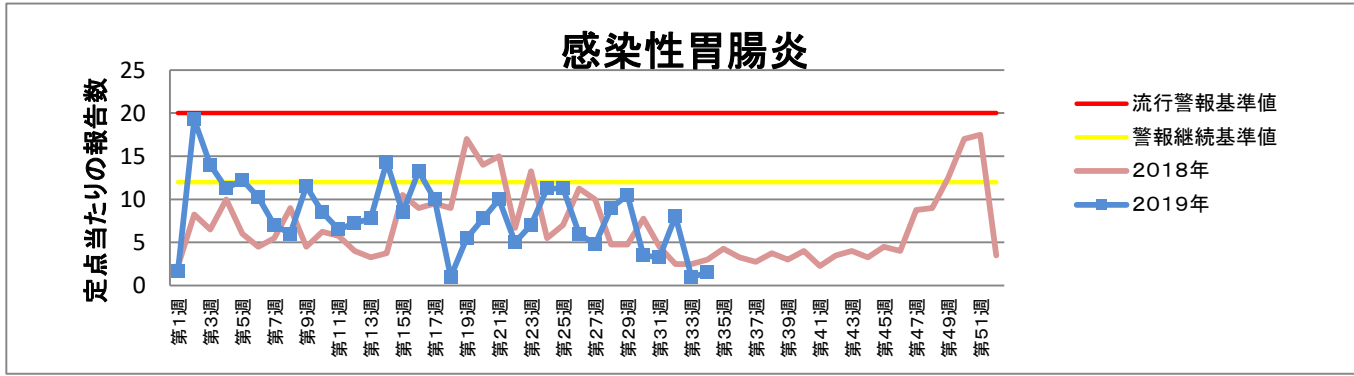
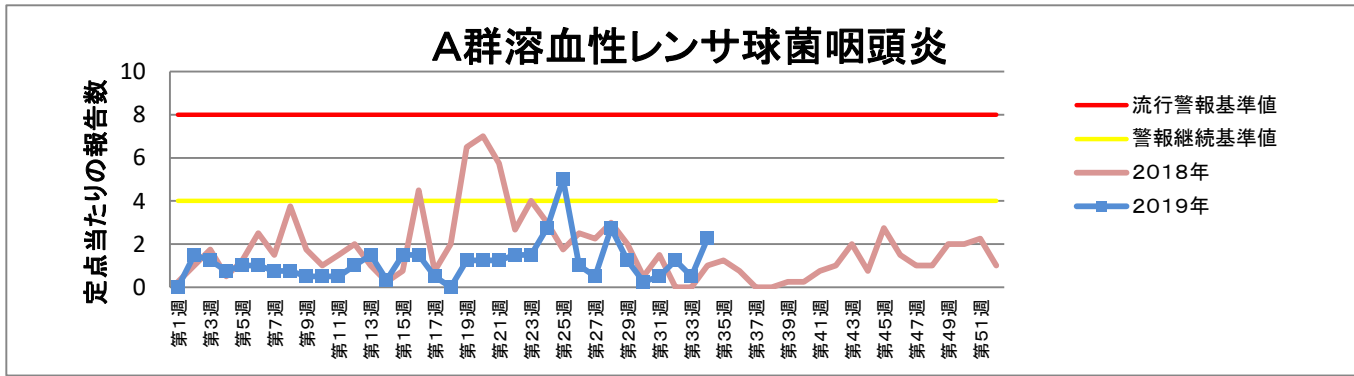
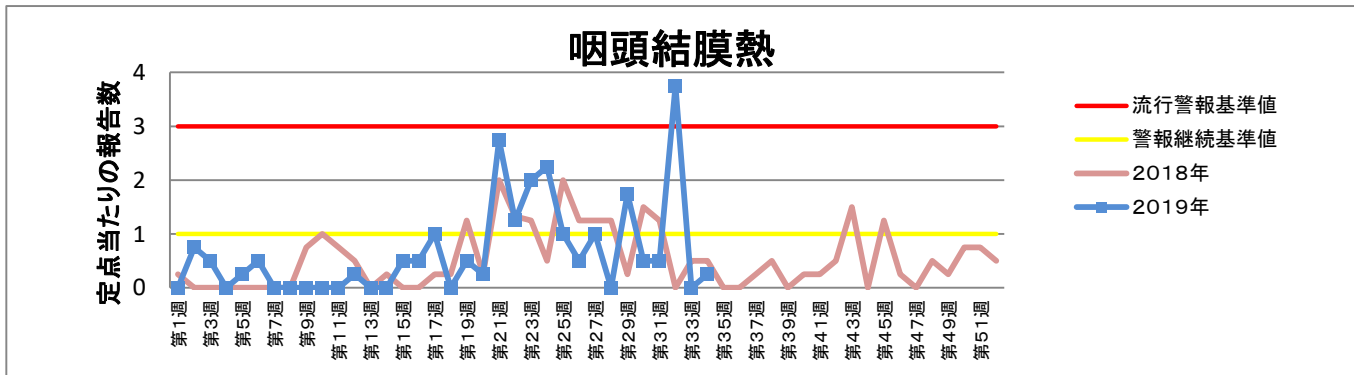
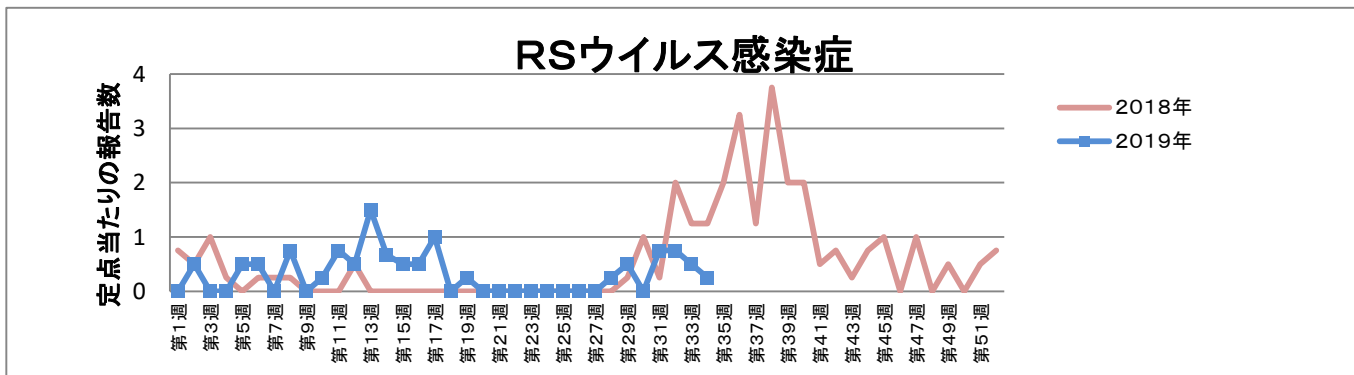
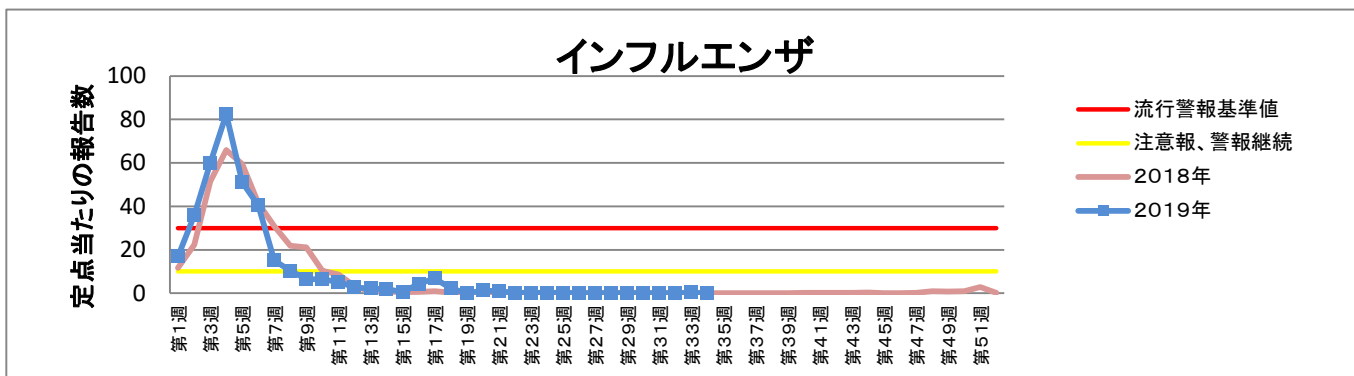
定点当たりの報告数 = 1週間の報告件数総数 / 定点数

* 乙訓管内 インフルエンザ定点 : 7箇所
小児科定点 (インフルエンザ以外の疾病) : 4箇所
眼科定点 : 1箇所

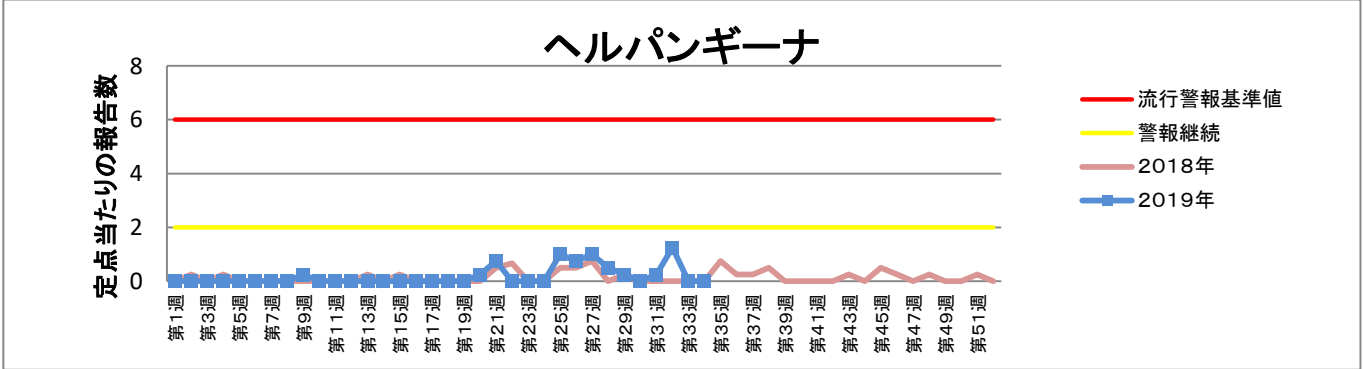
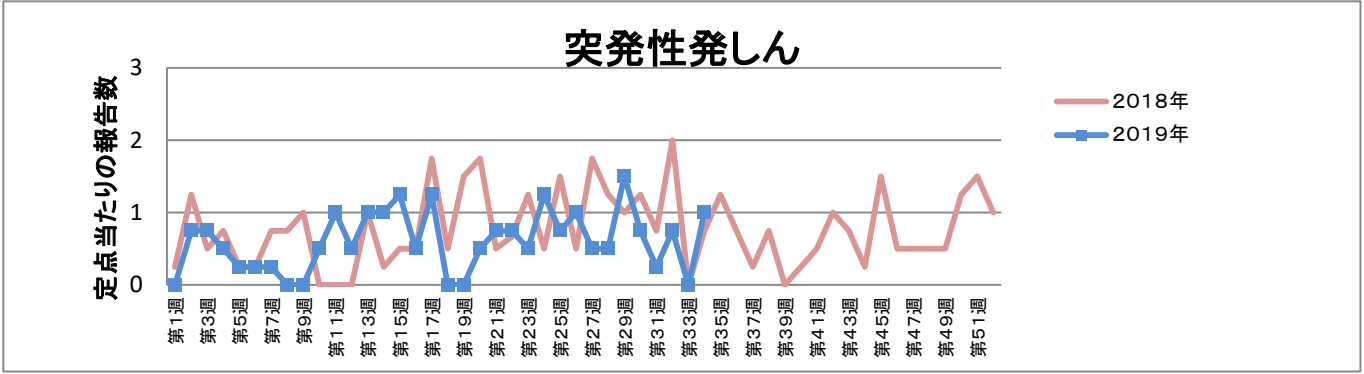
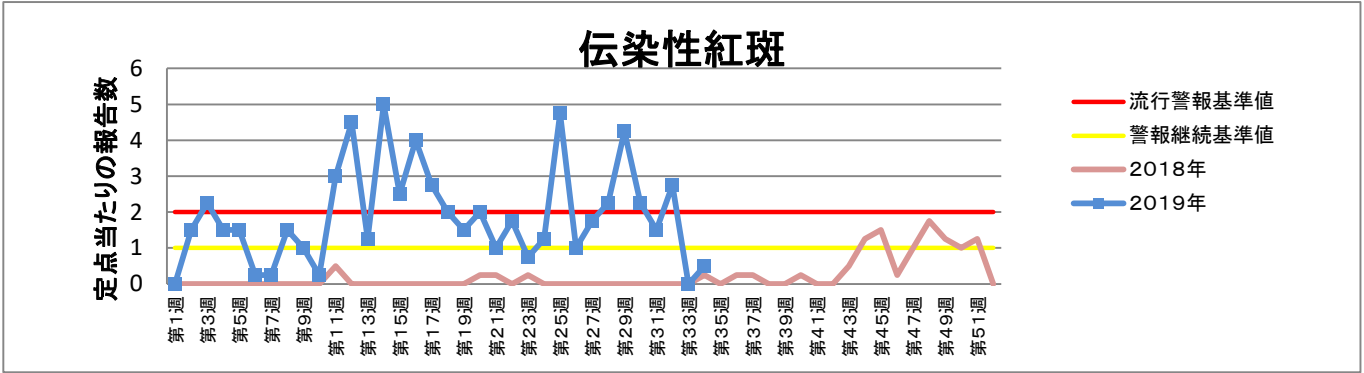
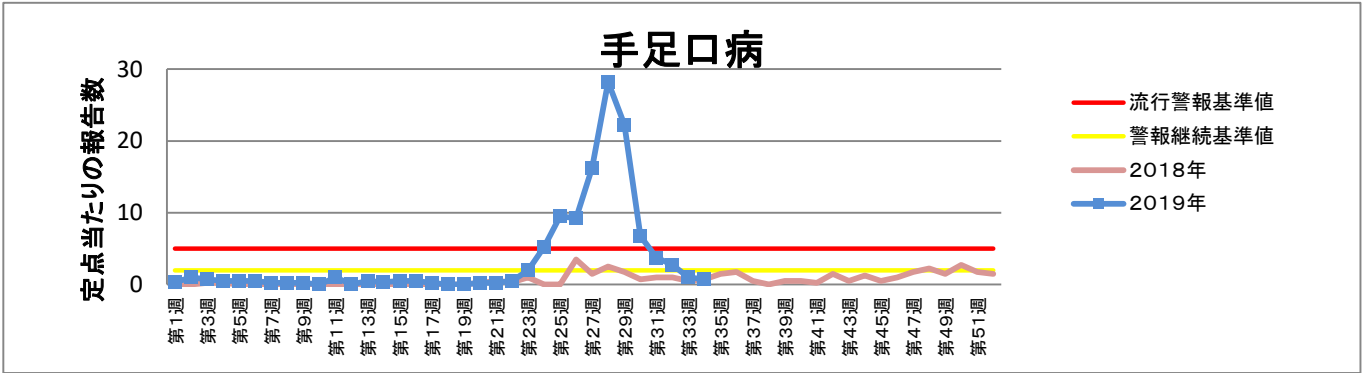
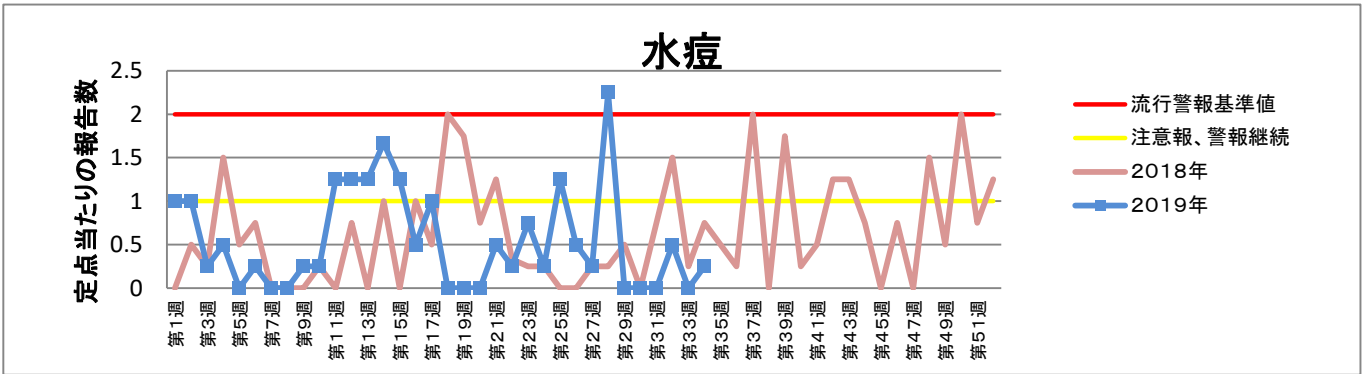
参考資料等

報告週対応表 <http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

乙訓保健所管内定点当たり報告数推移

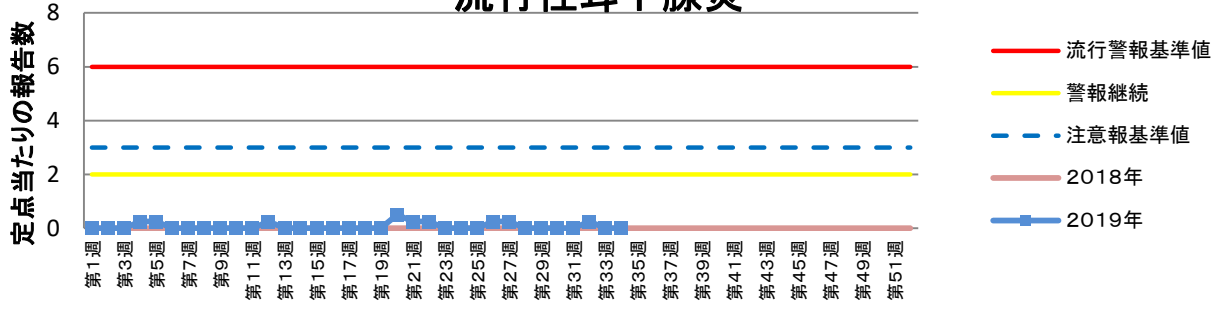


乙訓保健所管内定点当たり報告数推移

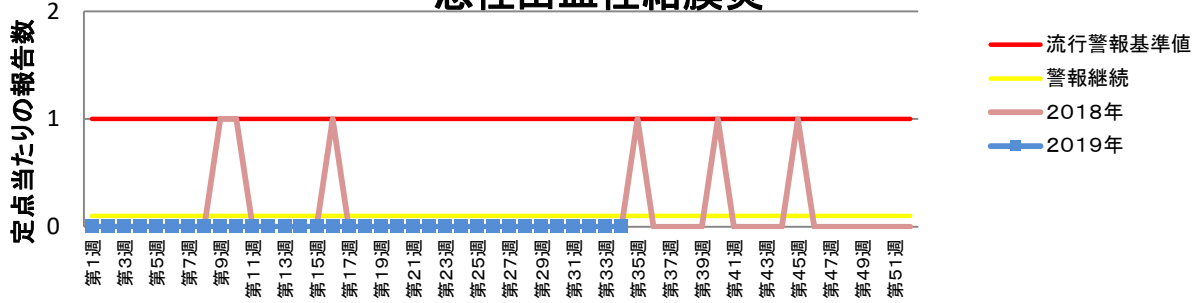


乙訓保健所管内定点当たり報告数推移

流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎



流行性角結膜炎

